

# まちづくりに関する住民アンケート調査結果報告書

## ☑ 調査の趣旨

本調査は、第10期津奈木町振興計画の策定にあたり、本町のまちづくりに関して、町民の皆様がどのように感じておられるかなどを明らかにし、今後のまちづくりの推進に向けた、数値目標を設定するための参考とするものです。

## ☑ 調査の実施状況

### 紙媒体アンケート

対象：18歳以上の津奈木町民（無作為）  
 期間：令和5年7月31日～8月20日  
 方法：郵送配布、郵送回収  
 配布：600票  
 回収：193票（回収率：32.2%）

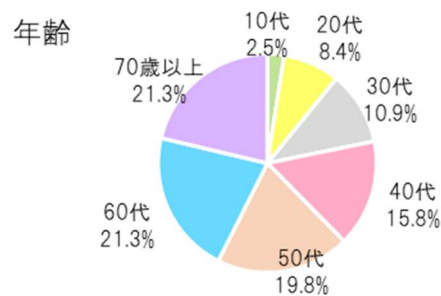
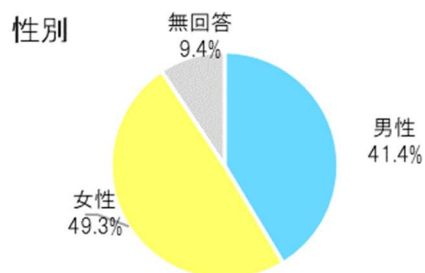


### WEBアンケート

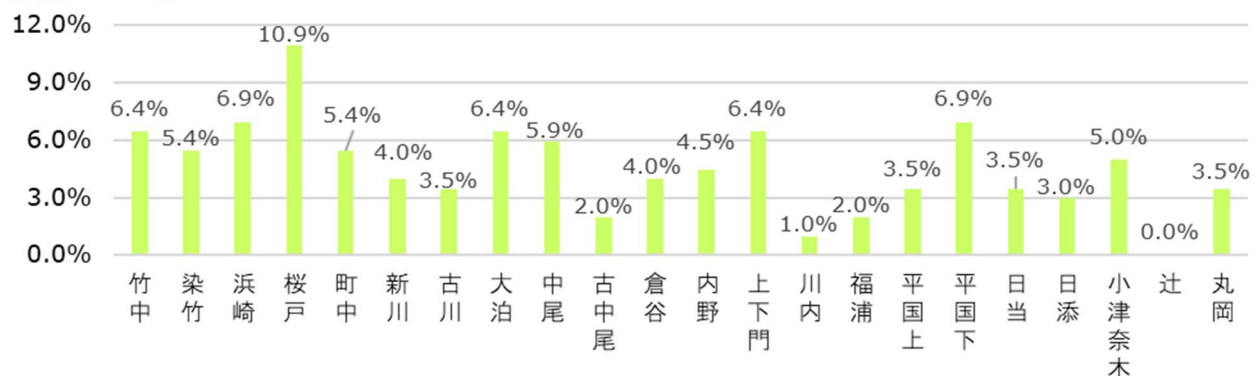
対象：津奈木町民（紙アンケート未回答の人）  
 期間：令和5年8月1日～9月10日  
 方法：HP・広報誌掲載、Google フォーム回答  
 回収：10票

集計結果は百分率で算出し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

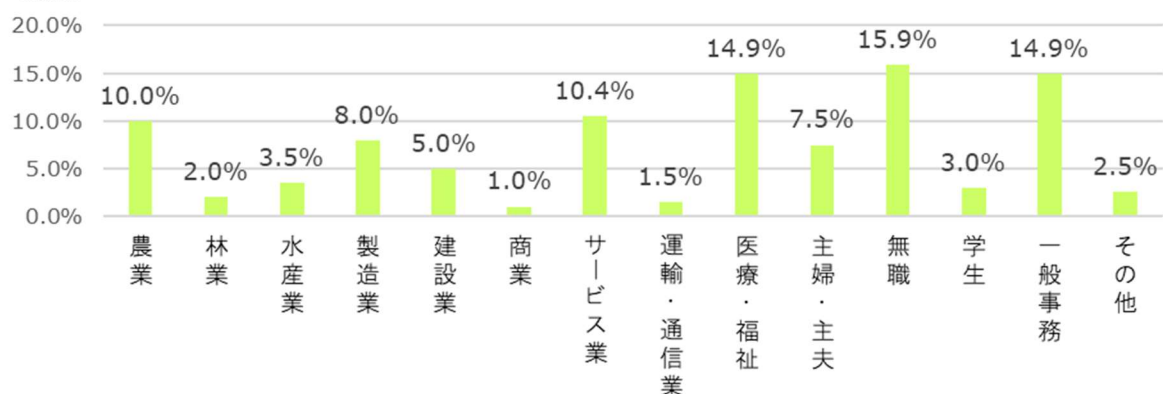
## 1 回答者の属性



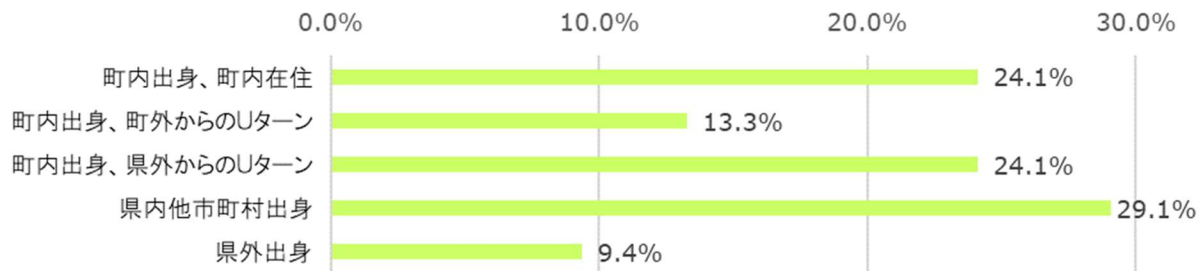
### お住まいの地区



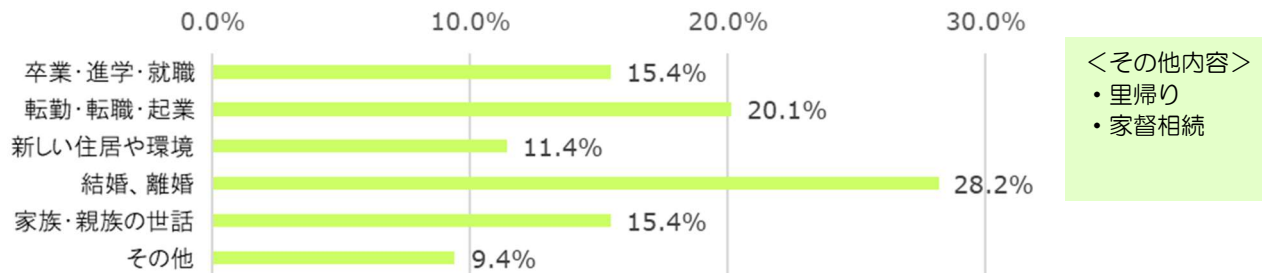
### 職業



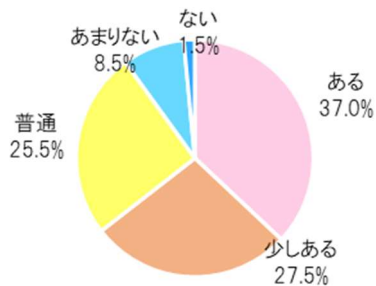
## 2 津奈木町の居住歴



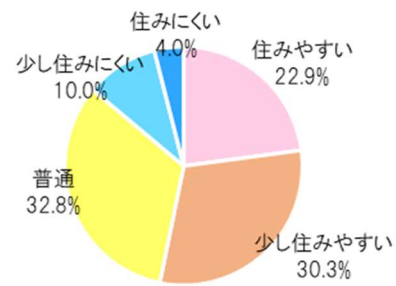
## 3 津奈木町へ帰ってきた、または転入した理由



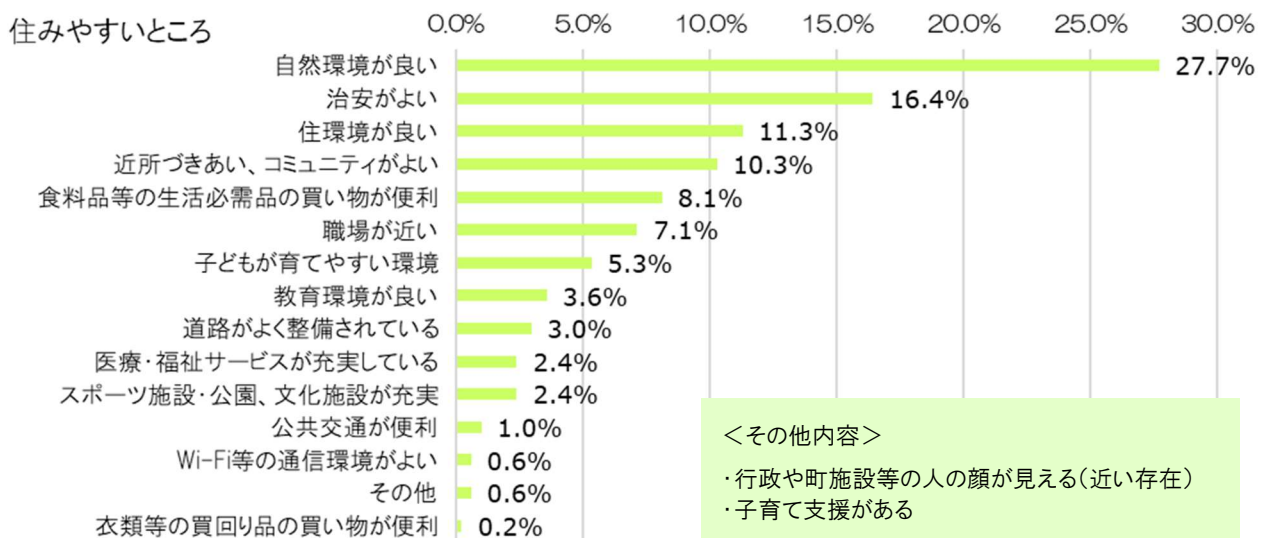
## 4 津奈木町に愛着度を感じているか

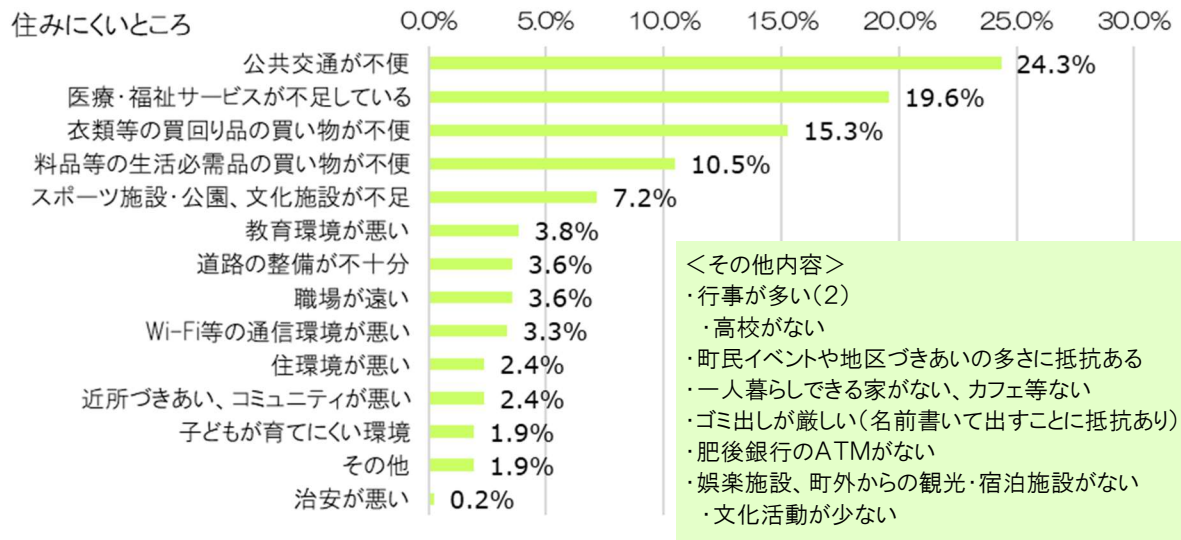


## 5 津奈木町は住みやすい町か

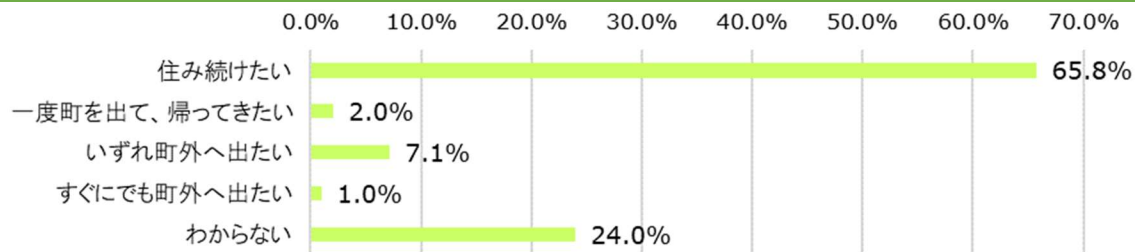


## 6 津奈木町の住みやすいところ・住みにくいところ

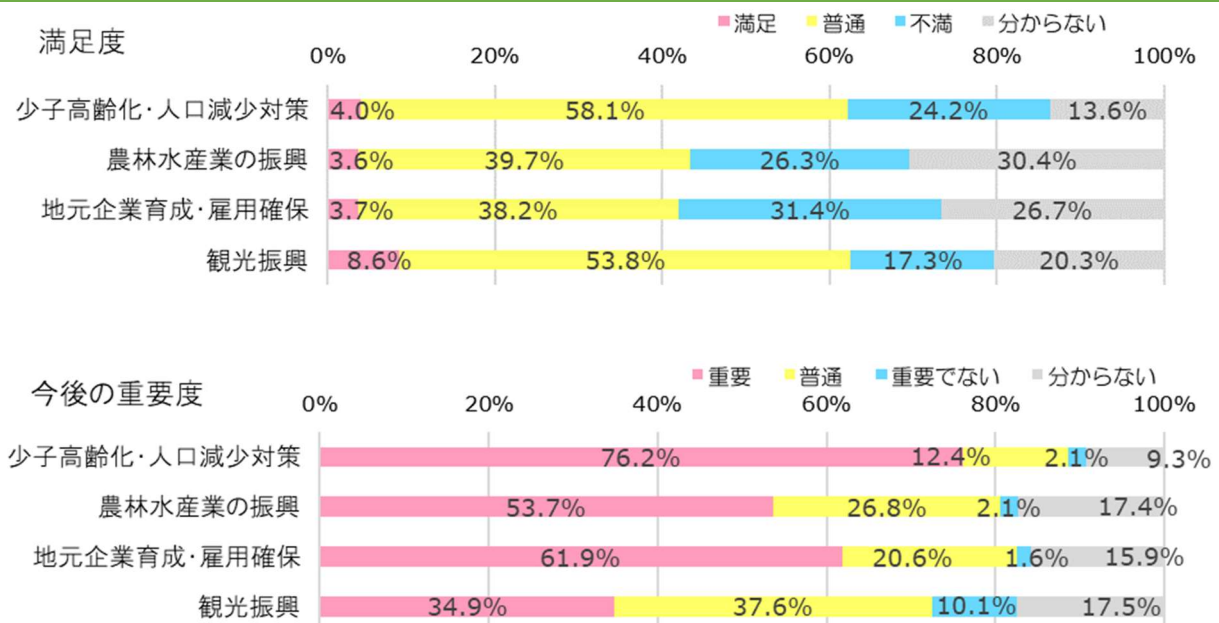




## 7 定住の意向（今後も津奈木町に住み続けたいか）



## 8 主要プロジェクトにおける「満足度」・「今後の重要度」



## 9 分野ごとの施策における「満足度」・「今後の重要性」

### ☑ 分野ごとのプロジェクトにおける「今後の重要度」ランキング

| 順位 | 施策名      | 割合    | 順位 | 施策名             | 割合    |
|----|----------|-------|----|-----------------|-------|
| 1  | 防災計画     | 65.3% | 14 | 交通体系計画          | 40.4% |
| 2  | 社会福祉計画   | 60.4% | 15 | 広域行政            | 40.3% |
| 3  | 保健医療計画   | 55.2% | 16 | 社会教育計画          | 39.4% |
| 4  | 学校教育計画   | 53.6% | 17 | 林業振興計画          | 39.2% |
| 5  | 水産業振興計画  | 52.1% | 18 | 観光振興計画          | 38.3% |
| 6  | 水利用計画    | 49.5% | 19 | 広報計画            | 37.7% |
| 7  | 商工業振興計画  | 47.4% | 20 | 環境保全(循環型社会構築)計画 | 37.0% |
| 8  | 生活関連施設計画 | 46.9% | 21 | コミュニティ計画        | 36.3% |
| 9  | 農業振興計画   | 45.9% | 22 | 交通安全計画          | 36.2% |
| 10 | 住宅計画     | 44.0% | 23 | 景観計画            | 34.7% |
| 11 | 財政計画     | 43.8% | 24 | 行政計画            | 30.2% |
| 12 | 土地利用計画   | 43.1% | 25 | 消費生活計画          | 26.6% |
| 13 | 地域づくり計画  | 41.8% | 26 | 文化振興計画          | 19.3% |

※P6参照:「重要」と回答があった割合を記載

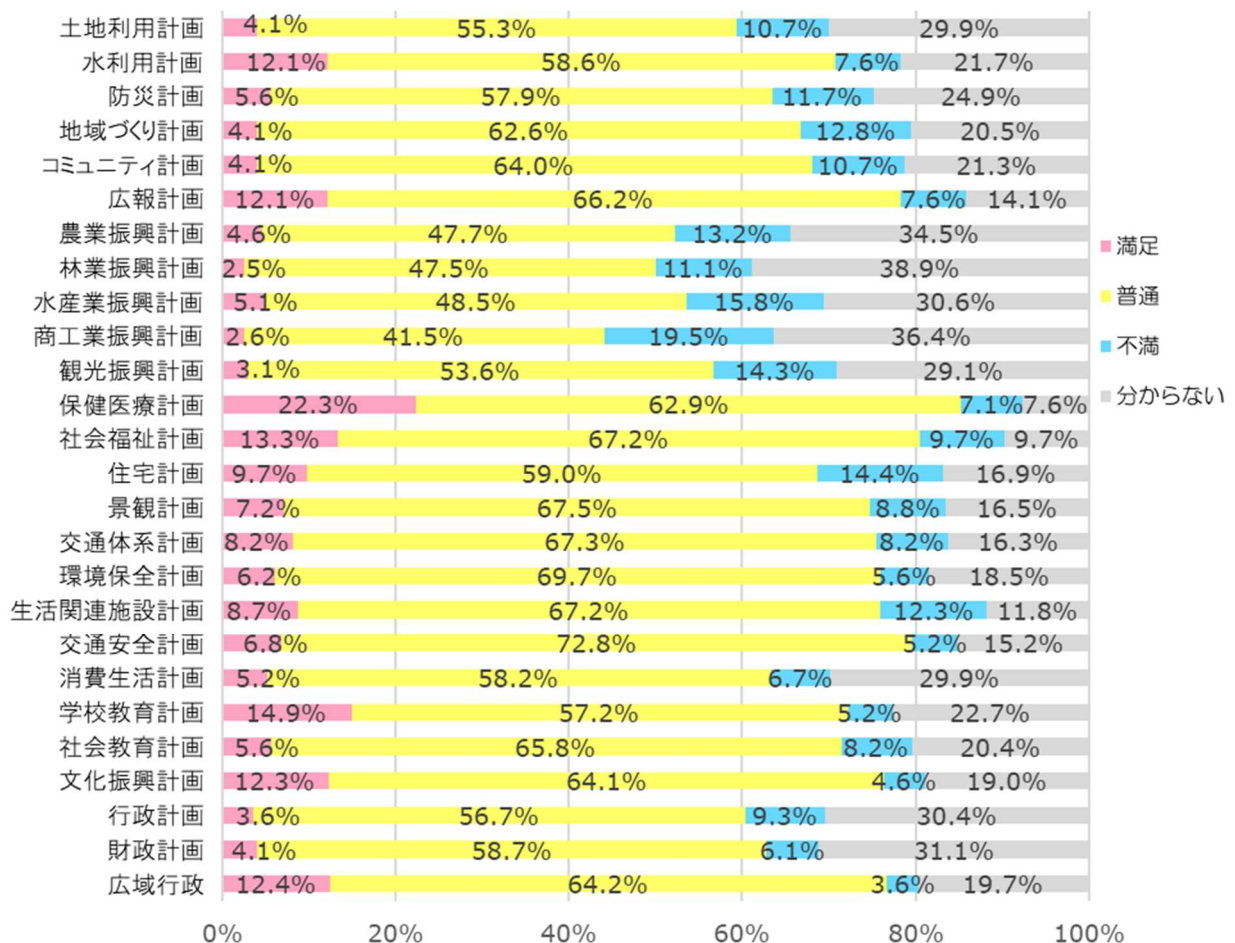
### ☑ 行政サービスの「満足度」

#### ★「満足度」ランキング

- 1位 保健医療計画 : 22.3%
- 2位 学校教育計画 : 14.9%
- 3位 社会福祉計画 : 13.3%
- 4位 広域行政 : 12.4%
- 5位 文化振興計画 : 12.3%

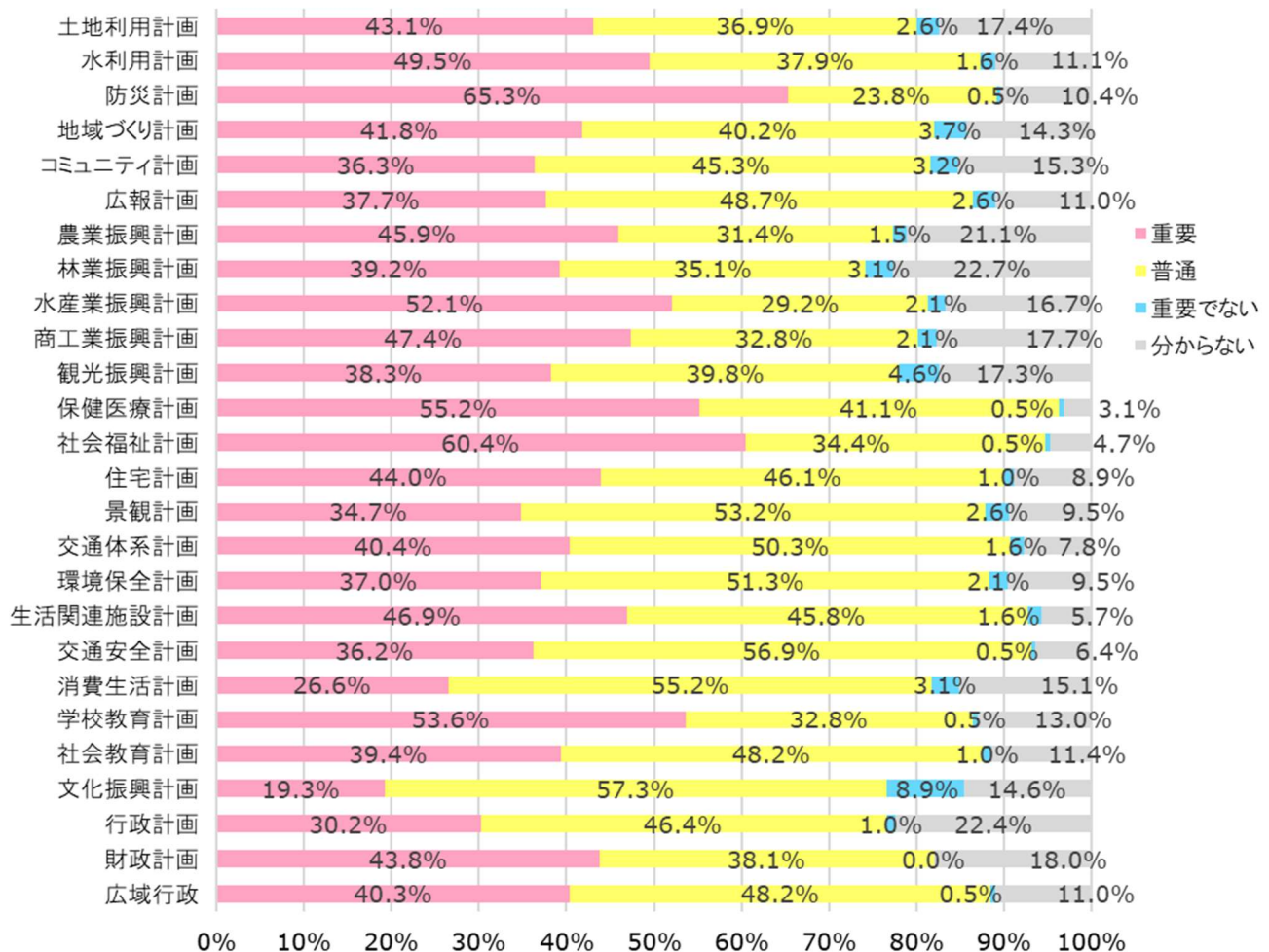
#### ★「不満度」ランキング

- 1位 商工業振興計画 : 19.5%
- 2位 水産業振興計画 : 15.8%
- 3位 住宅計画 : 14.4%
- 4位 観光振興計画 : 14.3%
- 5位 農業振興計画 : 13.2%

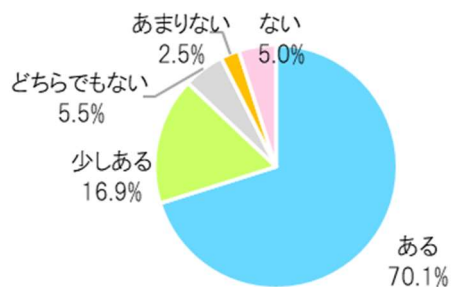




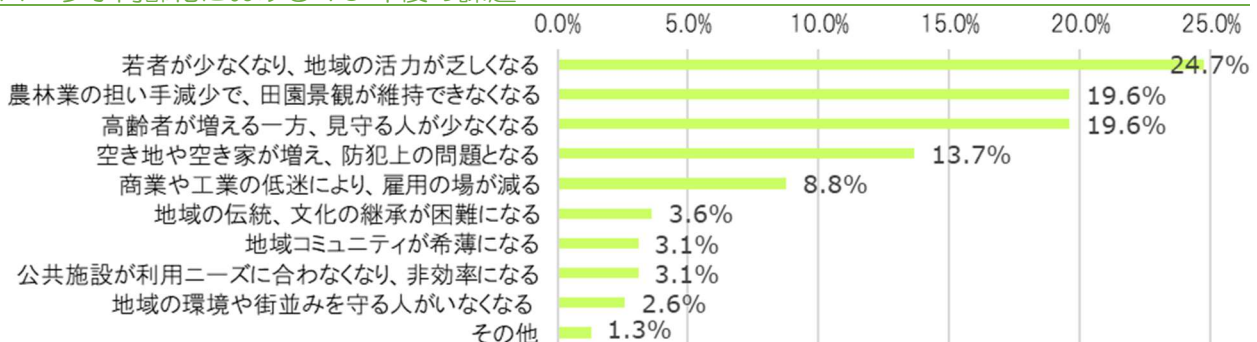
☑ まちづくり全体からみた「今後の重要度」



10 人口減少・少子高齢化の実感はあるか



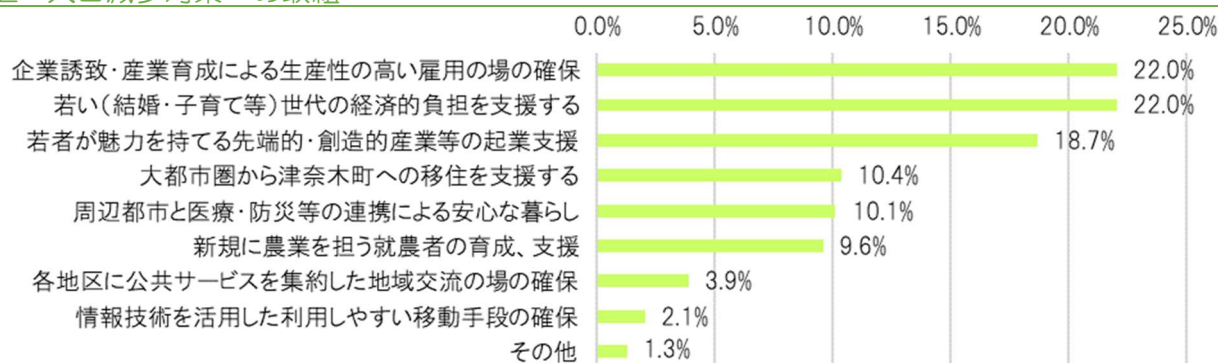
11 少子高齢化における10年後の課題



<その他内容>

- ・税金の負担増
- ・少子化により、学校での部活等活動ができなくなる
- ・高齢化はどうしても避けられないため、自立した高齢者であるための健康増進に力を入れる必要がある
- ・町に貢献する力のある若者となるように、未来を担う若者の育成に力を入れる
- ・議員定数削減8人→無報酬(出務賃金制の導入)
- ・漁業、農業後継者不足
- ・社会保障の増大に伴う現役世代の負担

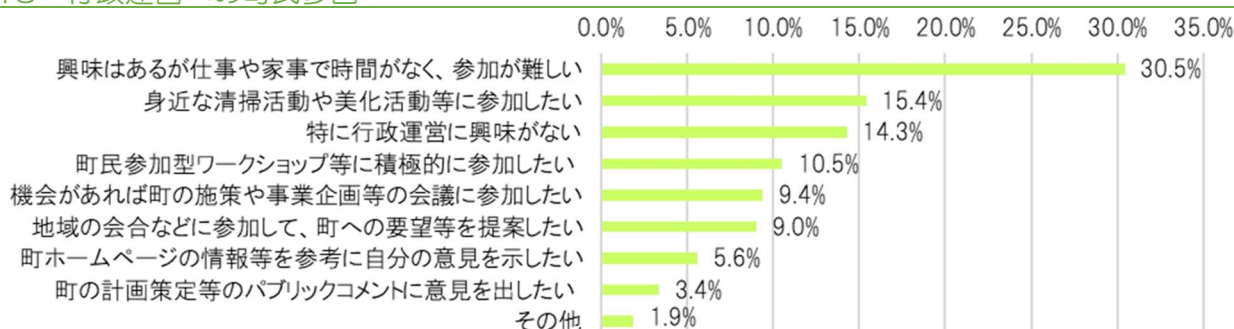
## 12 人口減少対策への取組



### <その他内容>

- ・子育てしやすい環境の提供
- ・福祉の充実
- ・若い世代の支援増(金銭的よりも生活支援、病後児保育、子育てに関する相談の場、支援センター等)
- ・移住目的として何か特化したものを津奈木町にほしい
- ・住宅整備、転入してきて住む場所の確保
- ・他地域と合併する

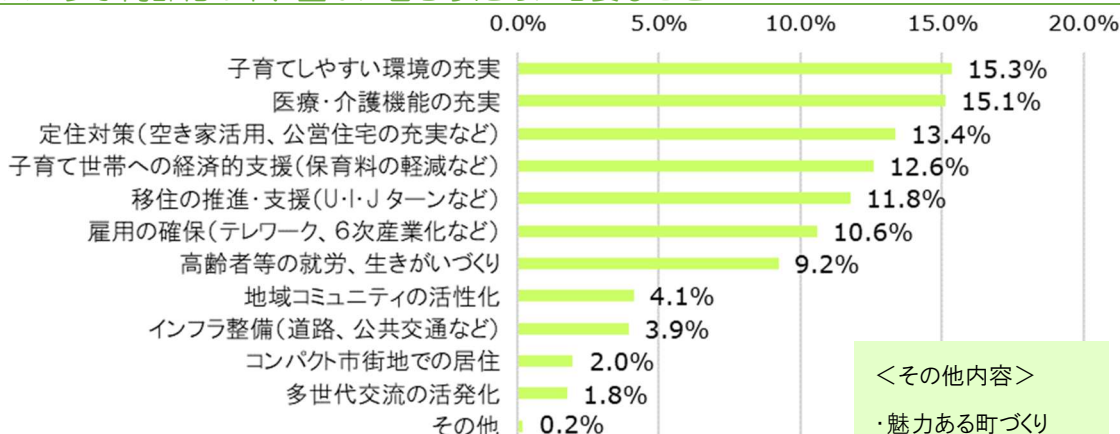
## 13 行政運営への町民参画



### <その他内容>

- ・意見や提案しても変わらないと思う
- ・どれも興味あるが、体と頭がついていかない
- ・行政又は町議等との座談会や住民説明会等の機会が設けられたら積極的に参画したい
- ・町民が参画したいと思える興味を引く、分かりやすい行政運営に見える化してほしい

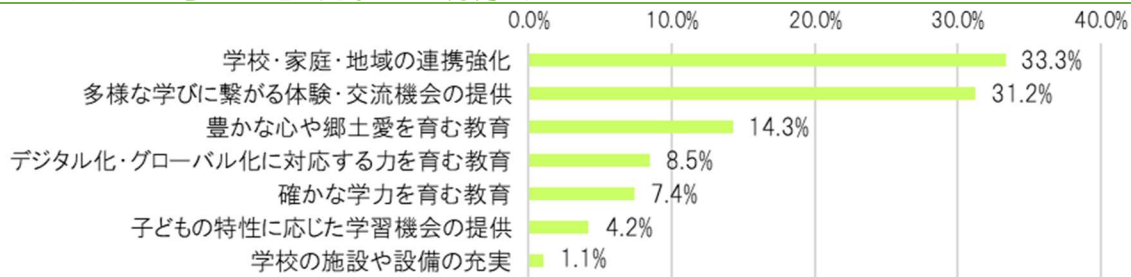
## 14 少子高齢化の中、豊かに暮らすために必要なこと



### <その他内容>

- ・魅力ある町づくり

## 15 子どもたちへの地域を担う人材育成



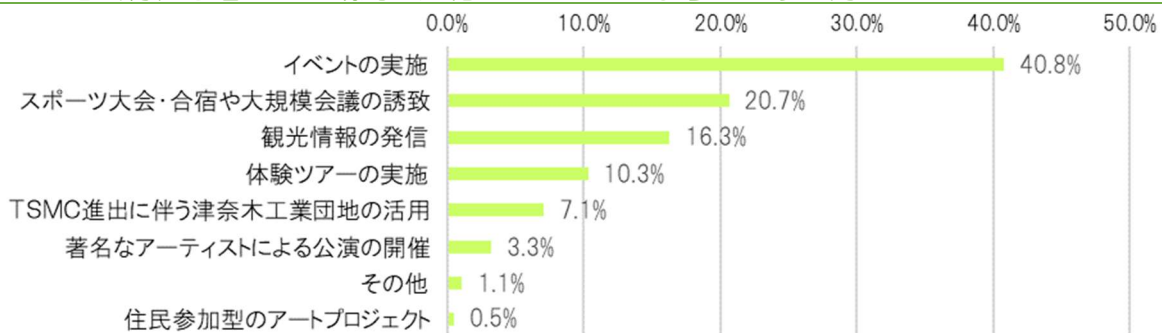
### <その他内容>

- ・スポーツを通しての学び
- ・社会教育の充実

### ・素晴らしい教師

- ・安心して働ける就労環境(収入の多い雇用の場の確保)
- ・幼少期から一貫した教育基盤の形成及び学び直しの機会の充実と拡充

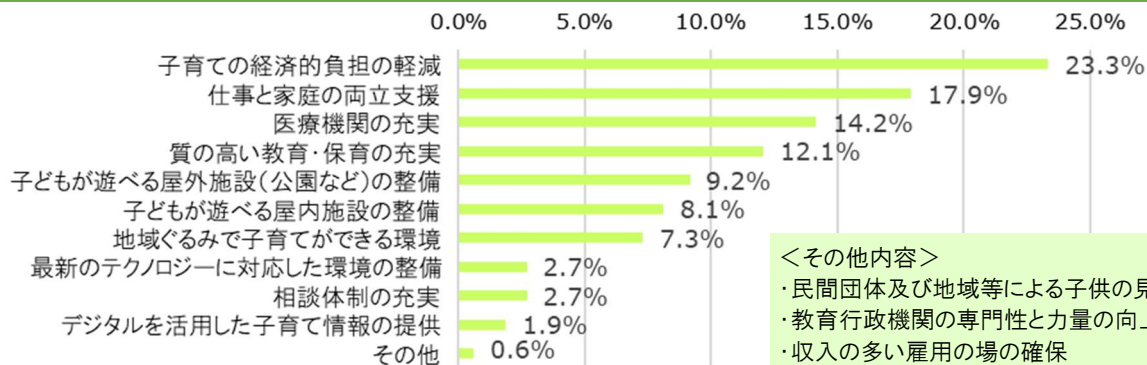
## 16 地域特性を活かした観光・文化・スポーツのまちづくりに向けて



### <その他内容>

- ・SNS の活用
- ・学芸員の確保・育成
- ・暮らしやすい町なので移住の受け入れをする
- ・赤崎小学校のキャンプ地・海水浴場として利用
- ・既存の美術館、百貨堂、四季彩の増額支援(他の計画では期待できない)
- ・素晴らしい景観を活かしたリゾート施設の建設・企業誘致
- ・合宿の環境に伴う施設充実
- ・移住の促進、町出身若者の都市部流出を減らす対策
- ・高齢化に伴うスポーツ大会の内容の見直し

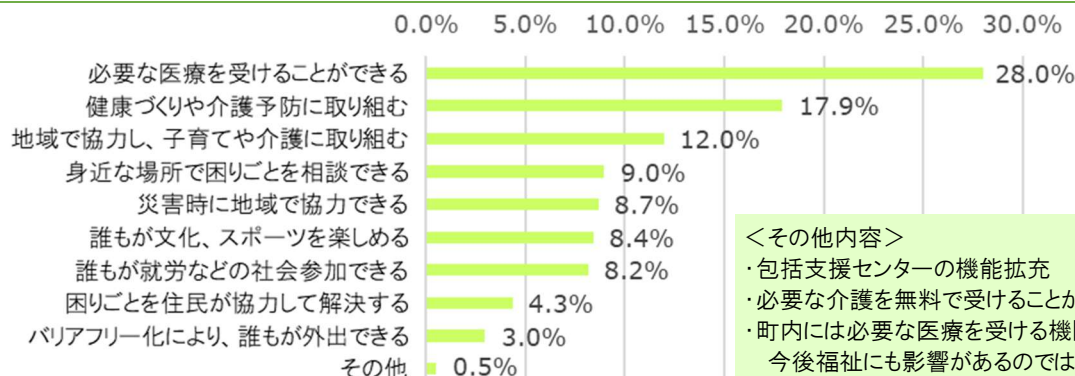
## 17 子育て世代に選ばれるまちづくりに向けて



### <その他内容>

- ・民間団体及び地域等による子供の見守り支援
- ・教育行政機関の専門性と力量の向上
- ・収入の多い雇用の場の確保

## 18 福祉分野で今後重要なこと

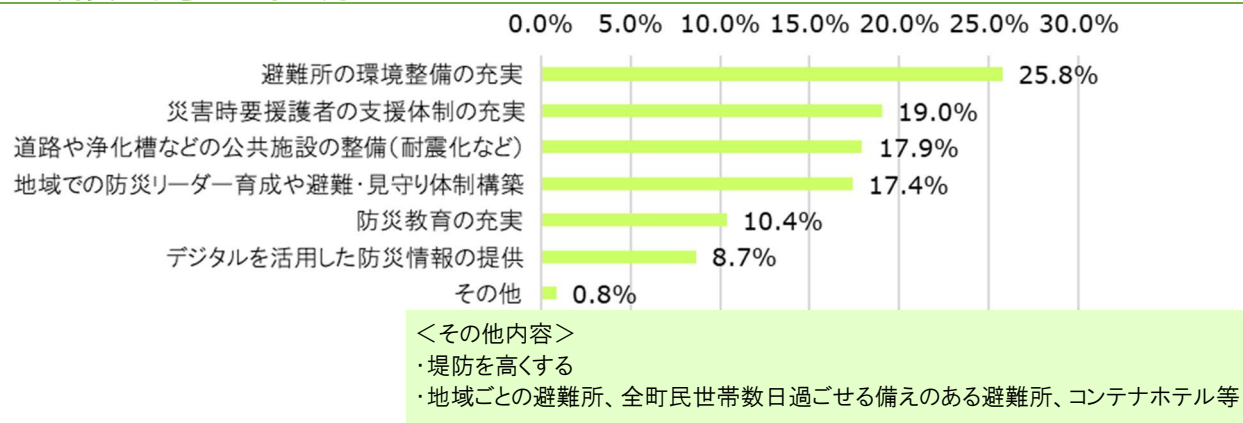


### <その他内容>

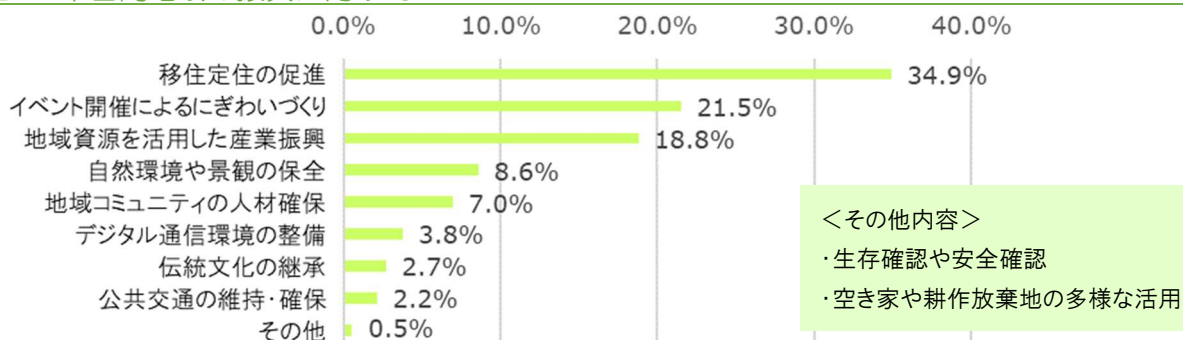
- ・包括支援センターの機能拡充
- ・必要な介護を無料で受けることができる
- ・町内には必要な医療を受ける機関が無いので、今後福祉にも影響があるのでは



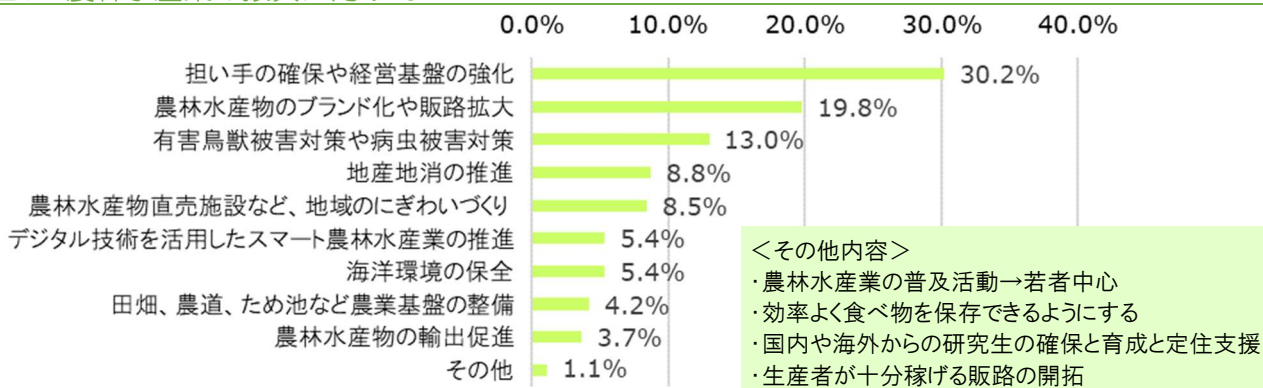
## 19 防災のまちづくりに向けて



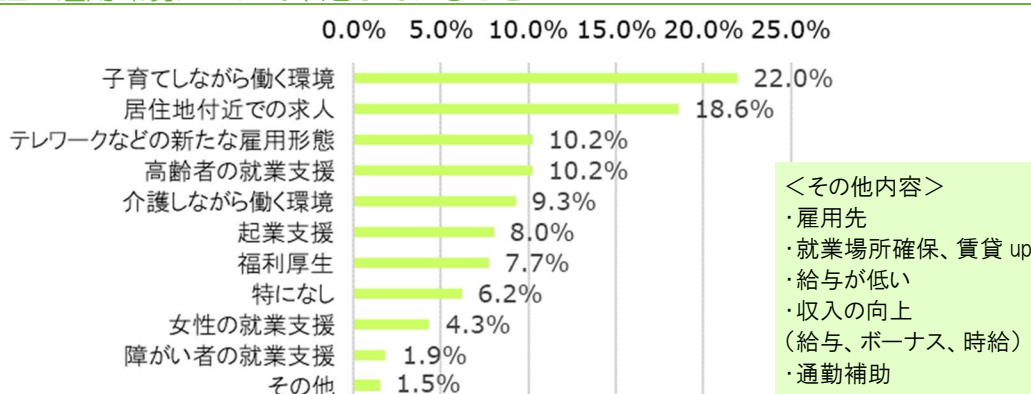
## 20 中山間地域の振興に向けて



## 21 農林水産業の振興に向けて

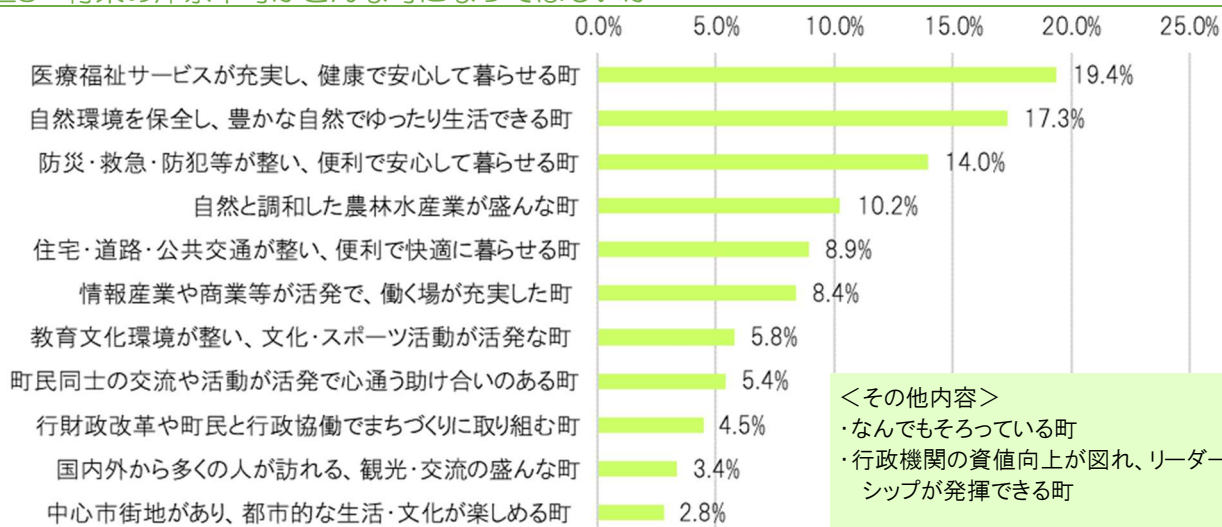


## 22 雇用環境について不足していること

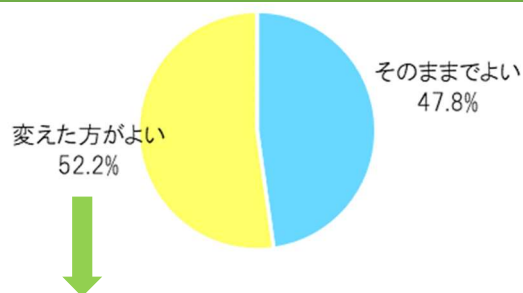




## 23 将来の津奈木町がどんな町になってほしいか

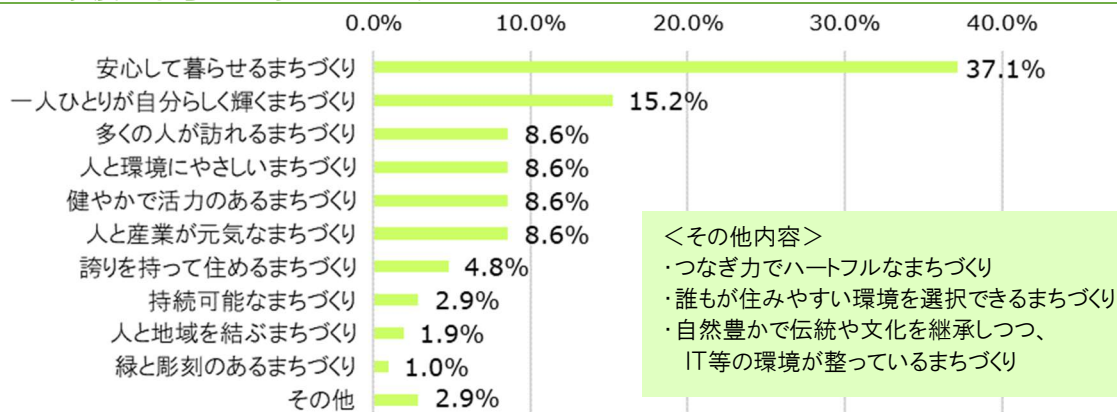


## 24 津奈木町のまちづくりのメインテーマ



現在のメインテーマ  
住みたくなるまちづくり

### 今後のまちづくりのメインテーマ



### 医療福祉

- ・子育てするにあたり、周辺に小児科がなく困る
- ・乳児期は遠出をするのがつらいので、近場(町内)に室内で遊べ、親が息抜きできる場がほしい
- ・津奈木には病後児を預けられるところがなく、水俣近隣に登録しなければならない(補助もない)
- ・子ども医療助成を県外でも受けられるようにしてほしい(他県では対応できている)
- ・低所得者だけでなく、そのちょっと上の所得世帯も支援が欲しい
- ・医療の充実・住居の確保は、あらゆる世代に共通のテーマだと思う
- ・「子ども・子育て支援事業計画」見直し(現在 WEB 上で確認できるものが H27.3 発行)
- ・子供達が遊べる公園や雨でも遊べるところが欲しい。平国も津奈木の公園も草だらけ。
- ・子育て中に子どもの相談をしたら、病院に相談してくださいと言われ、気軽に相談できず自分を追い詰めた。
- ・子育て世代なので、「保育料無償化」「給食費無償化の継続」をお願いしたい
- ・芦北町のような「こどもの広場」を作してほしい

### 農林水産業

- ・情報×農林水×アートの3つをかけあわせたよそに無い津奈木の魅力をしっかりと発信したい
- ・農業も漁業も稼げれば地元に残る選択もあると思う。

### 生活環境

- ・排水槽の整備を進めてほしい
- ・町指定ゴミ袋(生ゴミ・不燃物)が大きすぎる為、小サイズを作してほしい(高齢者・一人暮らし)
- ・ゴミ袋の高値により自宅で燃やす人が増えて困っている
- ・ゴミ袋の記名・透明色は不適切なものを発見しやすいと思うが、今の時代、防犯的にもあまり良くない

### 観光・アート

- ・アートで人口は増えたか
- ・津奈木温泉四季彩の夏のサウナ用の水がぬるいので冷たくしてほしい
- ・仏さまが悪いわけではないが、達仏や石霊など、津奈木イメージが暗くなっている。宗教的である。
- ・安全に考慮したうえで、重盤岩の旗まで行けるようにしてほしい
- ・四季彩宿泊施設の新設について、基本構想、基本計画・設計と着々と進んでいるが、現在2F での宴会場がなくなるのでは。町内で唯一の大宴会場で、同窓会、各種会合等ができなくなる。

### 移住

- ・移住者(若い世代・子育て世代)も増やすならば、支援サービスの充実も一緒に考えてほしい(里帰りしなければ祖母に頼ることができないので)
- ・移住者だけでなく、今住んでいる地元の人が「住みたい」と思うまちをつくらなければ、人は離れていく。

### スポーツ・文化施設

- ・海龍ジュニアを作してほしい。海を通してのアピールも津奈木町の強みではないか。
- ・大型連休のスポーツ活動はやめてほしい(家族旅行も行けない)。地区によっては高齢化で若者がいない。
- ・町民体育祭は、日常的に運動をしない人も参加するため怪我につながる。スポーツが苦手な人には苦痛。
- ・高齢化により町の行事への参加、草刈り、役員ができなくなる。代表を決めて役員手当を出して運営を。
- ・B&G 自販機前にゴミが多く汚い
- ・転入者が馴染み辛く、若者が交流する場がない。今後、結婚・子育てに対して積極的になれないのでは。町民運動会等、半強制的に参加させられるため、新築等を機に町外へ出ていく世帯が多いと聞く。
- ・B&G グラウンドの先にある干拓地のアクティビティ施設の充実(マリンスポーツなどのトレーニング場所など)
- ・B&G 体育館付近に家があるが、木があり見通しが悪い。ゴミ捨て場になっている。
- ・文化施設の充実(県立図書館の窓口機能を持つ。芦北町、水俣市の図書館を相互利用可能にする。)

## 雇用

- ・給料の良い仕事が多くあれば。
- ・転勤などで津奈木の居住が難しくなるので、水俣市を参考に新幹線通勤補助の検討をしてほしい
- ・働ける場所がない

## 公共交通

- ・週に1回往復する病院・スーパーへの定期便バスの運行。出かける目的ほぼ病院関係、買い物関係であることから将来免許返納時になっても、こういうシステムができれば心強く感じるのはあると思う

## 景観

- ・何故銀杏並木を切ったのか
- ・津奈木町は緑が特徴の1つだが、高齢化により管理ができていないところもあるので、若者世代を中心に森林教育など緑(森林)を普及させる活動をもっと増やし、若者が自然を通して、住みたいと思える町にしてほしい。

## 防災

- ・避難所指定の平国小施設のトイレの水が出ない。
- ・避難所指定の平国コミュニティセンターは、避難時にも女子トイレが1つ以外使用禁止なのはおかしい。
- ・四季彩からつなぎ美術館の間の津奈木川に土砂が流れ雑草が生い茂り、美観にも良くなく、土砂の堀削等をしないと大雨が毎年発生しており、氾濫の危険性が非常に高い。
- ・日本周辺の安全保障環境が悪化しつつ有る状況で、もし台湾有事が起きれば、九州各地はミサイル等の攻撃を受ける可能性がある。ウクライナ戦争を教訓に、町民の避難場所としてシェルターを作っていく必要があるのでは。ただ財政負担が生じるので、国の支援を得るためにシェルター設置の気運を高めてほしい。

## 行財政運営

- ・「津奈木町」は、ひらがなで「つなぎまち」。大変いい町名であるため、「つなぎ」、「つなぐ」をテーマとした政策を実現できれば、多くの方々に理解してもらえるのでは。
- ・①地域振興と産業育成の推進 ②子育て支援と教育環境の充実 ③地域づくりとコミュニティ強化  
これらをセットにして総合的に取り組む
- ・今あるものを最大限に活用した魅力ある町づくり
- ・美術館に町民がどれだけ関わっているか。文化センターの稼働率は。農林水産業はどれだけ進んでいるか。この小さい町でも多様化は進んでいるか。人口減少はどれだけ進んでいるか。またその対策は。町民として参加しやすい何かないかと思う
- ・今後は人口減少が進み、部落等がなくなるのではないか。他市町との合併の検討が必要ではないか。
- ・これまでの振興計画内容は不十分、次の点について改善を求めたい
  - ① 計画に数値目標を設定していない箇所が多数あり→数値目標を示して計画を策定する
  - ② ①の数値目標達成に向けた行動目標を掲げて策定する
  - ③ ①②を基にしたPDCAサイクルを確立した時期の有機的な計画を策定、住民にその指標を示す
- ・宮崎県三股町「コミュニティデザインラボ」のような住民主体で地域共生社会の実現する取組を。
- ・自然環境を取り込んだ活動や体験を通し、町内外の方の遊び場として認識されれば、活性化に繋がる
- ・子育て支援、空き家・耕作放棄地対策や地域イベントの支援、職員の町民への対応、町道の整備

## その他

- ・お悔みの有線放送：名前のみ(〇〇さんのご主人)で聞き取れない。死亡者をフルネームで伝えてほしい。
- ・周囲に耕作放棄地が多く、セイタカアワダチソウだらけの田畑、みかん山。然り空き家が倒壊寸前で危険であり、ウォーキングしながら悲しい津奈木の風景。買い物をするにも品数が少なく、高齢化が進んでいる証拠。しかし、子供達への支援が増えてきているので嬉しく思う。
- ・朝一番の音楽の音が休日でも大きく流れているのでもう少し小さくしてほしい。
- ・私の学生時代はどこ家庭にも子供がいて、家の外では子供の声が良く聞こえてにぎわっていたが、今は家の外も静かださみしい。